



万博関連特別イベント
国際シンポジウム

外国人から見た 「和室」の価値

令和7年

9/27(土)

13:00~16:00
(開場12:30)

世界で日本にしかない空間である「和室」。現在、日本国内で和室は減少を続ける一方、海外からの注目は高まりつつあります。

本シンポジウムでは、マリ共和国出身の京都精華大学元学長で、現在は日本国際博覧会協会副会長を

務めるウスビ・サコ氏をはじめとする海外にルーツを持つ研究者の方々と、和室に造詣の深い日本人研究者の方々をお招きし、「歴史」「技術」「文化」「思想」など多様な切り口から、外国人の目に和室はどう映るのか、国際的な観点から共にその価値を探ります。



【申込QRコード】



②

◆定員◆
会場150名(申込先着順)

参加費無料

※オンラインでの実施はありません

◆開催場所◆
大阪市立住まい情報センター
3階ホール

◆主催◆
大阪市立住まい情報センター



③

①②大阪くらしの今昔館(撮影:京極寛氏) ③和泉市久保惣記念美術館茶室聴泉亭(撮影:山形政昭氏)

令和7年9月27日(土) 13:00~16:00(開場12:30~)

ウスビ・サコ (Dr. Oussouby SACKO)

~ プログラム ~

●基調講演「日本の住まいと多様性
— 外国人から見た『和室』の価値 —」

【講師】ウスビ・サコ 氏

京都精華大学元学長、同大名誉教授、東京都立大学法人理事、
日本国際博覧会協会副会長・理事・シニアアドバイザー兼任他

●休憩

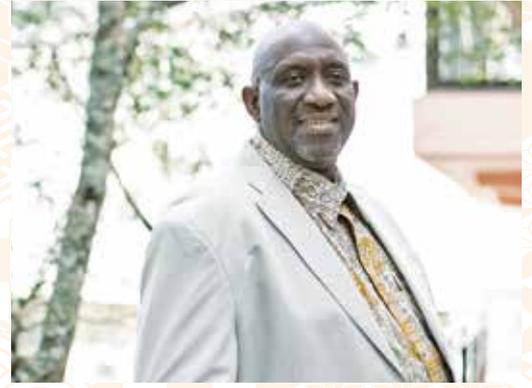
●パネルディスカッション

【パネリスト】

青井 哲人 氏 (明治大学理工学部専任教授)
内田 青蔵 氏 (神奈川大学特任教授、現代・和室の会会長)
郭 雅雯 氏 (安田女子大学理工学部建築学科准教授)
山形 政昭 氏 (大阪芸術大学名誉教授、関西学院大学フェロー)
ルフェブル・エリック 氏 (フランス政府認定建築士 (DPLG))

【コーディネーター】

増井 正哉 氏 (大阪くらしの今昔館館長、京都大学・奈良女子大学名誉教授)



京都精華大学 元学長/同大 名誉教授/
東京都立大学法人理事
マリ共和国生まれ。国費留学生として北京語言大学、南京東南大学で学ぶ。91年来日、99年京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。博士(工学)。専門は空間人類学。「京都の町家再生」「コミュニティ再生」など社会と建築の関係を様々な角度から調査研究している。京都精華大学人文学部教員、学部長を経て2018年4月同大学学長に就任(〜2022年3月)を経て現職。主な著書に「[これからの世界]を生きる君に伝えたいこと」(大和書房)、『アフリカ出身 サコ学長、日本を語る』(朝日新聞出版)など。2025年日本国際博覧会協会副会長・理事・シニアアドバイザー兼任他。



クオ ヤウエン

郭 雅雯

安田女子大学理工学部建築学科 准教授。
台湾出身。京都大学大学院博士課程修了。博士(工学)。
日本学術振興会特別研究員(DC2・PD)、朝陽科技大學助教、中原大學助教、京都光華女子大學講師を経て、現職。専門分野は、住生活学、住宅計画、住居史、日本植民地建築。歴史的な建築の保存と再生、地域の保全にも取り組んでいる。都市住宅学会博士論文最優秀論文賞、住総研究選奨、日本建築学会奨励賞などを受賞。



あおい あきひと

青井 哲人

博士(工学)、明治大学理工学部専任教授。
愛知県生まれ。専門は建築史・建築論。ポストコロナ建築史研究、災害史研究、家族史研究、建築批評など幅広く展開。単著に『ヨコとタテの建築論』(慶應義塾大学出版会)、『彰化一九〇六年』(acetate)ほか。共著に『戦後空間史』(筑摩選書)、『世界建築史15講』(彰国社)、『津波のあいだ、生きられた村』(鹿島出版会)ほか。ジャジャハウス管理人。



やまがた まさあき

山形 政昭

大阪芸術大学名誉教授、関西学院大学フェロー。
工学博士(東京大学)。
大阪府生まれ。京都工芸繊維大学建築学科卒業、同大学院修士課程修了。専門分野は建築歴史・建築計画学。日本の近代建築及び和洋の住宅建築に関心があり、大阪の歴史的住宅調査など行なってきた。とりわけヴォーリスの建築に関して研究を行い、著書には『ウィリアム・メレル・ヴォーリスの建築』などがある。社会活動では各地の歴史的建築の調査、保護に関わってきた。



うちだ せいじろ

内田 青蔵

神奈川大学特任教授、現代・和室の会会長。
秋田県生まれ。工学博士(東京工業大学)。
専門は近代日本建築史・近代日本住宅史。日本建築学会賞(論文)、日本生活学会今和次郎賞、日本生活文化史学会賞を受賞。著書に『日本の近代住宅』(鹿島出版株式会社)『間取りで楽しむ住宅読本』(光文社新書)『住まいの建築史—近代編』(創文社)など多数、和室の会の共著として『和室学』(平凡社)、『和室礼讃』(晶文社)など。



ルフェブル・エリック (Lefebvre Eric)

フランス政府認定建築士(DPLG)。
フランス出身。パリ・ラ・ヴィレット国立建築大学を卒業後、文部科学省奨学金を得て来日。解体予定だった藤井厚二氏の作品『汐見邸』を引き取り、意匠を可能な限り残しつつ個人住宅へ再生した。現在、大阪産業大学デザイン工学部で非常勤講師を務める一方、京都大学博士課程で「大都市近郊工業都市の都市変遷に関する研究」を進めている。昨年よりRIMOND社に参画し、2025年大阪・関西万博フランス館パビリオンの施工を担当。

■ お申し込み方法 ■

郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記して、FAXか郵便で下記申込先までお申し込みください。インターネットで申し込まれる場合は、申込フォームにお名前(ふりがな)・メールアドレス・電話番号・住所・年齢をご記入ください。

※このシンポジウムは、午前10時00分の時点で「暴風警報」が発令されている場合は、中止とさせていただきます。その他、やむを得ない状況により、中止する場合は、「おおさか・あんじゅ・ネット」等でお知らせします。

※お申し込みにあたっていただきました個人情報は、受付業務及びセミナー利用状況統計の基礎データとしてのみ利用させていただきます。

※手話通訳をご希望の方は、開催2週間前までにお問い合わせください。

■ お問い合わせ(申込先) ■

大阪市立住まい情報センター

〒530-8582(住所不要) 住まい情報センター4階住情報プラザ

「【国際シンポジウム】外国人から見た『和室』の価値(9/27)」係

TEL:06-6242-1160 FAX:06-6354-8601

おおさか・あんじゅネット<https://www.osaka-angenet.jp/>

【申込フォームURL】<https://www.osaka-angenet.jp/event/522>

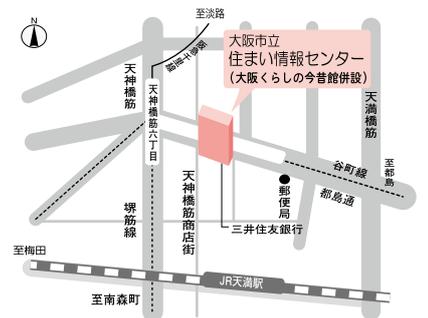


【申込QRコード】

■ 開館時間 ■

平日土曜9:00~19:00、日曜祝日10:00~17:00

休館日:火曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(日曜日、月曜日の場合を除く)、年末年始



■ OsakaMetro 谷町線、堺筋線・阪急電鉄
「天神橋筋六丁目」駅3号出口をご利用ください。

■ JR 環状線「天満」駅からは北へ約650mです。